

# HG-UC 058

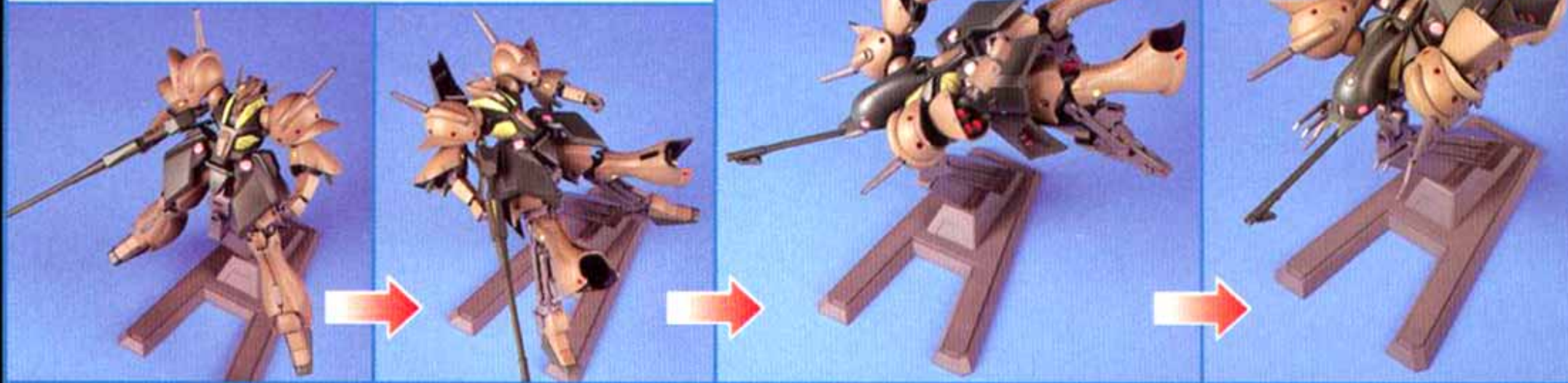
# RX-110 ガブスレイ

## ■ RX-110 「ガブスレイ」

“ガブスレイ”は、バブテマス・シロッコによる設計概念を元に開発・試作された可変MSである。開発は連邦軍のルナツー工廠の開発枠を利用してティターンズ主導の元に行われ、砲撃戦と格闘戦の双方で高いスペックを達成している。機動兵器としてのポテンシャルは画期的なものであったが、複雑なフレーム構造などが生産性向上の障害となることが明らかであったため、量産は見送られ、数機の試作が行われたのみであった。U.C.0087年9月。最大規模のジオン残党であるアクシズが地球圏に向かっていった。その途上、エゥーゴのアーガン隊を追うティターンズのアレキサンドリア艦隊が攻撃を仕掛けてきた。隕石に身を潜めていたジェリドとマウアーのガブスレイがアーガン隊を奇襲。そこにアーガマの危機を察知したZガンダムが駆けつける。カミーユのZが容赦なくマウアーのガブスレイを撃ち、閃光と共に四散した。「マウアーっ!!」絶叫を上げ、ジェリドはZに突進する。その猛然たる気迫はカミーユを圧倒する。

## 変形システム (TRANSFORM SYSTEM)

MS・MA両形態で劇中のアクションポーズを再現可能。



六甲模型教材社 本店